

近畿病院図書室協議会共同リポジトリ “KINTORE”

－構築から公開へ－

増田 徹¹⁾，谷口裕美子²⁾，寺澤裕子³⁾

¹⁾ 藍野大学中央図書館，²⁾八尾市立病院図書室，³⁾ 関西労災病院図書室

近畿病院図書室協議会（以下病図協）のリポジトリへの取り組みは、2012年に東京築地で行われた、第29回医学情報サービス研究大会に端を発する。「DRF 主題ワークショップ：リポジトリで発信する医療情報・病院図書館との連携」のパネルディスカッションにパネラーとして参加したことがきっかけであった。

そしてその3年半後の2016年1月に、おそらくは日本で最初の病院図書館が主体となった共同リポジトリを公開することができた。2016年5月時点で会員114機関中14機関が共同リポジトリに参加している。

この発表においては、病図協が共同リポジトリ公開に至るまでの具体的な道のりと、要した費用、公開後の利用状況について報告したい。また共同リポジトリに参加している機関および参加していない機関へのアンケートを分析して報告し、第29回医学情報サービス研究大会時にとったアンケートとの比較も行いたい。